

大村賞の選考方法および基準

基本概念： 全応募者を公平平等に選考する。

選考プロセス： 外部審査委員による評価に基づいて、内部選考委員が審査し、受賞者を決定する。

外部審査委員の役割： 担当する応募者の申請書内容に基づいて研究業績、研究課題の独自性・独創性および将来性を評価し3ページ程度の報告書にまとめ、事務局に提出する。なお報告書には、以下の基準に基づいた各項目の採点による点数も記載する。

1. これまでの業績と応募者の貢献度；30点
2. 該当する研究分野での貢献度；20点
3. 研究の独自性・独創性と将来性；50点

外部審査委員の選定： 応募者は3人以上5人未満の外部審査委員の候補を推薦*し、その氏名(所属・職名)を明記したリストを提出する。共同議長は、リストの中から2名の外部審査委員を決定することを基本とするが、応募者の研究を中立的かつ客観的に評価できる研究者を選定する。

*推薦する研究者として、応募者が現在所属する大学研究室や研究所部門のメンバーから、推薦することは不可である。また、選考委員メンバーを推薦することも出来ない。

内部選考委員の役割： 選考委員会を開催し、外部審査委員から提出された報告書を参考に全応募者の研究業績と独自性・独創性と将来性を議論する。その後各選考委員は、各々の応募者を5点満点で評価する。外部審査委員の報告書に疑問や質問がある場合は、前もって文書で事務局に提出し事務局から外部審査委員に回答を求めておき、回答は選考委員全員で共有する。

受賞者の決定： 各選考委員の評価の合計点が一番高い応募者を受賞者とする。合計点が一番高い応募者が複数いた場合は、それら応募者の評価を各選考委員は見直し、再度評価を行う。なお選考委員全員が5点満点とした場合の合計点に対して、85%以上の点数を獲得する応募者がいない時は、受賞者なしとする。

2025年9月21日